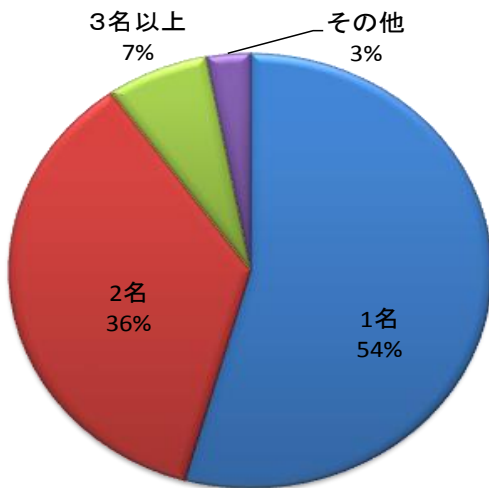


学校給食費無料化アンケート集計結果

- 1 実施日 平成28年7月11日（月）～ 7月20日（水）
- 2 対象者（小中学生保護者） 4,094世帯
- 3 集計枚数 3,971枚
- 4 回収率 97.0%
- 5 集計結果 下記のとおり

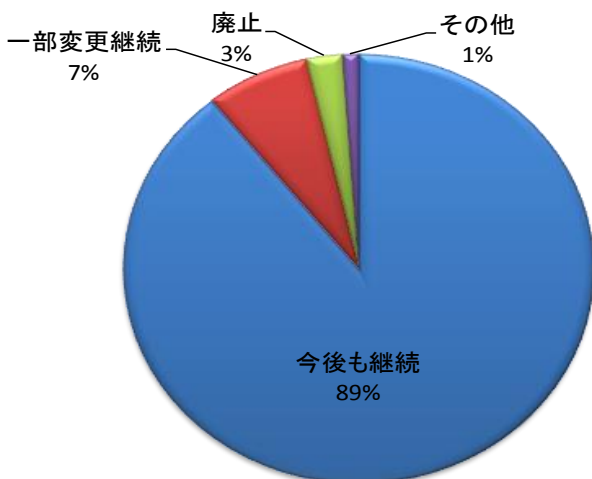
【問1】 現在、小中学校に在籍しているお子様は何名ですか。



(単位:人)	
1名	2,160/3,971
2名	1,422/3,971
3名以上	272/3,971
その他・未回答	117/3,971

※小中学校に在籍していない就学前と高校生以上のお子様の数も記入いただいた対象者の方もいるようです。

【問2】 給食費無料化について、あなたのお考えに近いものを選んでください。また理由についてもお答えください。（自由記述）



(単位:人)	
今後も継続を望む	3,546/3,971
一部変更して継続を望む	284/3,971
廃止を望む	98/3,971
その他・未回答	43/3,971

●複数の選択肢に丸がついていたものは、その他に分類しました。

【問2】のまとめ

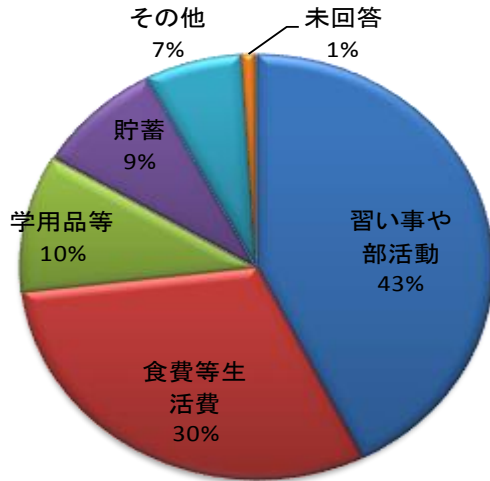
「今後も継続を望む」との回答が約9割を占めており、理由としては「経済的負担が軽減される」、「子どもたちが安心して給食を食べられるように」という意見が多く見られ、子育てのしやすい環境づくりを推進しているということがわかる。

一方で、「一部変更継続を望む」、「廃止を望む」と回答した方の理由としては、「保護者が負担するべき」、「子どもたちのための別な事業に税金を使ってほしい」という意見が多くみられた。

《【問2】 選択した理由のまとめ》

○今後も継続を望むを選択した方の主な理由	数
経済的負担の軽減となり、別な出費に回せる。(生活費、教育費、貯蓄等)	1519
納税したお金の使い道(子どもたちのために使われること)が明確で納得できる。	85
現状に不満がない。(無料から有料になるのは抵抗がある。子どもにどう伝えていいかわからない。)	18
自分の子どもの給食費は親が負担すべきと思うが、正直ありがたい。	22
(学校給食も教育の一部であるので)義務教育の間は無料で良いと考える。	16
未納に関するトラブルがなく、すべての子どもたちが安心して給食を食べられる。	167
大田原市のPRになる。(住民が増えるのではないか?)	29
少子化対策、子育て支援に有効だと考えるため。	93
給食をとおして食べ物への感謝、納税の意義を学べるから。	57
子どもに地域・食事に感謝できる心を持って欲しい。	26
所得制限もなく公平である。	2
市長公約なので、任期中は継続すべき。	18
市の財政が厳しい(他の予算が削られる)のであれば保護者負担も仕方がない。	36
一時給付金(現金)で支給しても子どものために使われるとは限らないので。	5
○一部変更して継続を望むを選択した方の主な理由	数
保護者が負担すべきだと思うから。 (親が子どものために一生懸命働いている姿を見せることも必要)	69
半額負担することでありがたみがわかる。 (食を大切にするために自己負担が必要)	32
子どもたちのために使って欲しい。《学校施設の整備(エアコンの設置、トイレ改修等)、通学路の整備、学童や保育、学習支援、甲状腺検査など》	42
別なところ(医療・福祉など)に税金を使ってほしい。	39
保護者負担があっても給食をより充実して欲しい。 (おかずを増やしてほしい。安全な食材を使用してほしい。)	19
所得に応じて負担額を変えるべき。	30
市民全体の負担を減らすため。(子供のいない家庭との不公平感を減らすため。)	50
市長公約なので。	2
○廃止を望むを選択した方の主な理由	数
保護者が負担すべきだと思うから。 (親が子どものために一生懸命働いている姿を見せることも必要)	50
給食費無料化があたりまえ、子どもたちの理解もいまひとつで、親のモラルが低下している。	6
子どもたちのために使って欲しい。《学校施設の整備(エアコンの設置、トイレ改修等)通学路の整備、学童や保育、学習支援、甲状腺検査など》	26
別なところ(医療・福祉など)に税金を使ってほしい。	20
有料にして給食をもっと充実させてほしい。	6
支払が難しい家庭だけ無料で良いのではないか。	6
市民全体の負担を減らすため。(子供のいない家庭との不公平感を減らすため。)	12
○その他・未回答であった方の主な理由	数
廃止や一部負担にしても支払わない家庭が多そうなので、その分市民税を上げるべきだと思う。	
大田原市が払いきれないなら廃止でも一部負担でもかまいませんが引き落としが良いです。	
良いと思うが我が家は市外通学なので支払っていますので。	
学用品、学費の方にお金を使えるので保護者の負担が軽くなるのではと思います。	

【問3】 支払うことのない給食費分のお金の使い道を次の中から選んでください。



(単位:人)

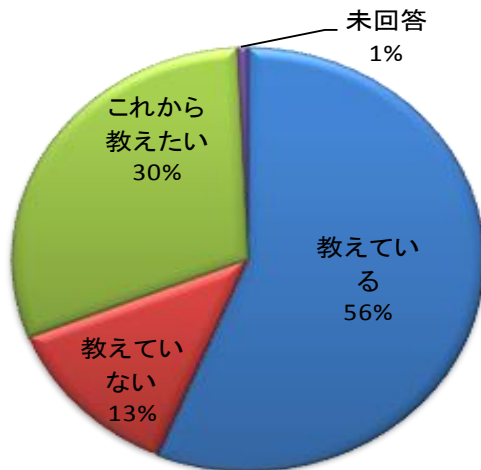
習い事や部活動	1,694 / 3,971
食費等生活費	1,210 / 3,971
学用品等	413 / 3,971
貯蓄	350 / 3,971
その他	266 / 3,971
未回答	38 / 3,971

- その他の内訳(抜粋)
- ・選択肢をひとつに絞れない。
 - ・意識して使っていないので、わからない。

【問3】まとめ

「習い事や部活動」、「学用品等」を合わせて5割以上を占めており、子どもたちが教育を受ける機会を増加させたということができる。また、進学のために貯蓄しているという意見もあり、それぞれの家庭で子ども達のために使っていることがわかる。

【問4】 子どもに給食費は税金であることを教えていますか。



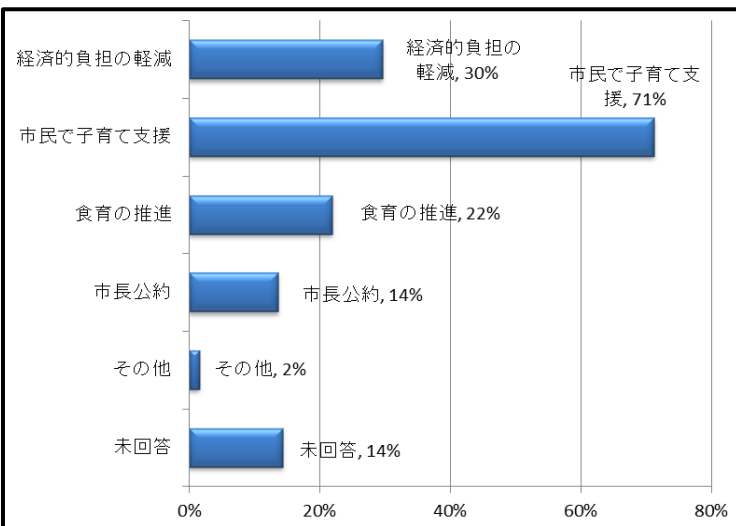
(単位:人)

教えている	2,234 / 3,971
教えていない	505 / 3,971
これから教えたい	1,203 / 3,971
未回答	29 / 3,971

【問4】のまとめ

子どもに対して給食費が無料であることを教えている、又はこれから教えたいと考えている保護者が8割以上に上り、前回のアンケート同様に給食に関心を持ち、親子で話し合いの場を設けている家庭が多くあることがわかった。

【問5】 子どもに無料化になった理由をどのように説明していますか。(複数回答可)



全回答数 6,044件
(単位:人)

経済的負担の軽減	1,175 / 3,971
市民で子育て支援	2,827 / 3,971
食育の推進	869 / 3,971
市長公約	542 / 3,971
その他	62 / 3,971
未回答	569 / 3,971

- その他の内訳(抜粋)
- ・給食費未納問題を解決するため。
 - ・市民に支えられていることに、感謝できるように。
 - ・本来は保護者が負担するべきである。

【問5】のまとめ

給食費が無料になった理由について、「市民全体で子育てを支援するため」と教えている又は教えたいと考える保護者は、7割以上に上り、子どもたちに納税の大切さや地域住民への感謝の心を教育するきっかけとなっている。また「食育を推進」と回答している保護者も2割に上り、家庭での食育にもつながっている。

自由意見（給食に関連するもの抜粋）	
ご意見	担当課からの回答
無料化で給食の量や質が下がるなら保護者負担でもやむなし。	1カ月あたり小学生4,200円、中学生4,900円を予算としております。（消費税の増税に伴い100円増額）食材費については、保護者負担の時と変更ありません。
質も量も低下したように思う。冷凍の野菜を使うので切り方などが本来の野菜らしくない。（サトイモが真ん丸で豚汁に入っている）	地場産品を使用できるよう努めておりますが、季節によって手に入りにくい野菜や仕入れ値が高騰してしまう食材については冷凍食品を使用しております。ご理解いただきたいと思えます。
無料化となった分の3億円をどこから捻出したのか明確にしてほしい。	市を挙げて行財政改革の推進を図っております。職員の定数管理を徹底し、人件費を削減するとともに事業仕分により経費の節減及び合理化等を行い、捻出しております。
食物アレルギーへの対応が不十分なのは？	食物アレルギーへの対応は、原因のアレルゲンによって多岐にわたるため、ひとりひとりへのきめ細やかな対応が困難です。安心安全に提供できるメニューのみの対応となっております。ご理解いただきたいと思えます。
ノロウイルスで給食が提供できなかった時の対応を検討してほしい。（ご飯と牛乳、簡易的なおかずだけでは物足りない。おかずを持たせてあげられないか？）	感染症の流行拡大を防止するため、最善の取り組みができるようマニュアルを作成いたしました。通常給食を実施しない場合には、状況に合わせて衛生的に運搬できる限られた食材しか提供できませんので、事案に基づき、状況判断をしてその都度検討させていただきます。
安全安心な給食の提供をお願いします。（素材にも気を使ってほしい。施設・設備面の充実）	給食食材については、調理員が納品の際に検収を行い、品質の良い食材を使用できるよう努めております。施設・設備に関しましては、随時購入、更新してまいります。
食材の定期的な放射性検査と残留農薬検査をお願いしたい。	食材の微生物検査、理化学検査（残留農薬県検査）については「学校給食法（学校給食衛生管理基準）」に基づき検査を実施しております。また放射性物質検査については、学校農園で栽培された野菜を中心に不定期に実施しております。
出来る限り地産地消を推進してほしい。（どの程度実施していますか？）（農家に生産してもらえないか？）	米飯については大田原市産、牛乳については栃木県産を提供しております。他の食材については、各学校で食材を選定しており、地場産品を使用できるよう工夫しております。地域の農家の方に直接納品していただいている食材もありますが、給食食材を専門的に生産していただくためには、解決しなければならない問題がありますので、関係機関と協議し検討してまいります。